

登録コード	SGH09900	開講年度	2026				
授業題目	博物館実習 I					担当教員	吉田 孝紀
英文授業名	Practice of Museumology I					副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学年	3年
講義室	理学部第13講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	
						備考	博物館学芸員
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	主に学内資料と学外資料の双方を用い、資料の取り扱い、記録・管理方法、展示方法を学び、さらに小展示の実現をめざした実習を行う。また、学外の博物館において見学実習をおこない、学芸員実務の具体例にふれることで、学外実習に向かう前提となる知識・意識を高める。						
(5)授業のキーワード	人類知の継承と未来創造マインド 博物館法 博物館学芸員						
(6)授業計画	第1回 博物館学芸員とは（実習の目的と意義を説明するイントロダクション） 第2回 見学（学外の博物館・美術館） 第3回 資料の特性と価値 第4回 資料の取り扱い 第5回 展示方法・教育普及活動を学ぶ 第6回 博物館・美術館リサーチ（調査手法と注意事項の説明） 第7回 博物館・美術館リサーチ（調査実践） 第8回 博物館・美術館リサーチ（報告資料作成） 第9回 博物館・美術館リサーチ（調査報告会、意見交換2） 第10回 博物館・美術館リサーチ（調査報告会、意見交換1） 第11回 博物館・美術館リサーチ（調査結果の相互比較） 第12回 学内展示の改善1 第13回 学内展示の改善2 第14回 博物館におけるコミュニケーション；学びの場を作る 第15回 博物館におけるコミュニケーション；議論の場を作る，授業アンケート実施 ※学外講師の日程によって，順番・内容が変更となる場合があります。						
(7)成績評価の方法	受講の積極性（出席およびグループワーク等への取り組み）と発表のわかりやすさを60％、各種レポートの内容評価を40％とする。						
(8)成績評価の基準	レポート内容，発表と実習授業への参加態度の積極性による。						
(9)事前事後学習の内容	実習中に提示された課題に加えて，関連資料を自ら探してレポートを作製する。						
(10)履修上の注意	・講師の日程によっては，授業計画の順番や内容が変更となる場合がある。 ・博物館学芸員資格関連の他科目をできるだけ履修しておくこと。 ・科学館・博物館等を自主的に見学し，観察・鑑賞経験を高めておくこと。 ・理学部受講者については，授業計画の一部をサイエンスカフェ等のコミュニケーションの場の計画・運営の実習として実施する場合がある。実施に関しては掲示に注意すること。						
(11)質問、相談への対応	授業後に、あるいはメールでも可。研究室来室も可（理C棟4F R409）。来室の場合、事前にメール kxyoshid@shinshu-u.ac.jpで連絡してほしい。						
【教科書】	なし						
【参考書】	「学芸員の仕事」 神奈川県博物館協会編 磐田書院						